

# 中小企業あきた

- 1 第72回中小企業団体全国大会が開催される ..... 1
- 2 コロナに負けず、がんばっています！〈第2弾〉..... 2



- 景況レポート9月分 ..... 4
- 話題の広場
  - 中央会事業より..... 6
  - 支援団体活動レポート..... 8
  - アラカルト..... 9
  - インフォメーション..... 9



## TOPICS 1 第72回中小企業団体全国大会が開催される



10月22日(木)、茨城県水戸市「ザ・ヒロサワ・シティ会館」において、第72回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会・茨城県中小企業団体中央会)が『つながるひろげる連携の架け橋～スクラム強く団結前進～』をテーマに開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、当初予定の4分の1程度の規模へ大幅に縮小し、本県から参加した4名を含む全国の組合代表者等約380名が出席しました。

本大会は、全国にある約3万の中小企業組合等が取り組むべき課題をとりまとめ、内外に広く表明するとともに、国等に対して生の声を直接届けることを目的に毎年開催されています。

大会では、中小企業・小規模事業者の難局からの脱却と、その先の持続的な成長等を支援していくことを目的に「生産性向上・経営強靱化支援等の拡充」や「積極的な事業活動を支える環境整備」等、全21項目の要望が決議され、さらに本大会の意義を内外に表明する「大会宣言」が満場の拍手のもと採択されました。

引き続き、開催された表彰式では、優良組合として秋田県生コンクリート協同組合(高橋栄志理事長)ならびに組合功労者として加藤憲成氏(秋建協同組合理事長・本会副会長)がそれぞれ全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

### 第72回中小企業団体全国大会 受賞おめでとうございます

【優良組合】



秋田県生コンクリート協同組合  
(理事長 高橋 栄志 氏)

【組合功労者】



加藤 憲成 氏  
(秋建協同組合 理事長)

【中央会優秀専従者】



谷口 秀明  
(大館支所長)

### 第73回 中小企業団体全国大会

～開催日～  
令和3年11月25日(木)

～場 所～  
パシフィコ横浜  
国立大ホール  
(神奈川県横浜市)

# コロナに負けず、 がんばっています！〈第2弾〉

新型コロナウイルスの影響が依然として続いておりますが、この逆境に負けずにがんばっている会員組合の取組について、9月号に引き続き、ご紹介します。

## 県産木材の輸出拡大に取り組む

## (秋田県木材産業協同組合連合会)

秋田県木材産業協同組合連合会(大坂真一理事長、会員9協同組合)では、県産木材の輸出拡大に積極的に取り組んでいます。

県産木材は、国内での産地間競争や住宅着工数の減少により、厳しい経営環境におかれています。そこで、県内の木材加工事業者等の連携による海外マーケットへの県産木材製品の新たな販路開拓と認知度向上を目的に、本会では、木材・木製品事業者を対象に販路開拓に関する懇談会を平成30年度と令和元年度の2年度にわたって開催しました。

この懇談会を契機に、当連合会では、北米に向けた製材品の輸出を開始し、令和2年度の秋田港における国産製材品の輸出実績は、国内の主要な港の中で8番目となるなど、輸出拡大の取組が功を奏しています。

今後は、中国等の近隣アジア諸国での新たな販路を開拓するとともに、安定供給体制を強化

して、毎月20コンテナ、年間6,000㎡の輸出を目指すこととしています。

連合会の橋場専務理事は、「木材需要等、現地での情報収集を強化するとともに、低い加工度で、小規模の木材加工事業者でも参加しやすいようにサポートしたい。」と述べ、連合会が先頭に立って、木材加工事業者をまとめ、秋田港からの木材輸出を促進していく方針です。



[輸出している製材品]

## 秋田市から道路照明灯LED化事業を受託

## (秋田電気工事協同組合)

秋田電気工事協同組合(布谷博理事長、組合員167名)は、平成24年に「秋田市町内防犯灯LED化(ESCO)事業」の事業者を選定され、防犯灯のLED化・維持管理事業を事業協同組合として全国で初めて共同受注しました。さらに平成25年には官公需適格組合証明を取得し、官公需の受注拡大に向けた取組を強化しています。

この度、これまでの実績を活かして、秋田市の公募型プロポーザル入札に参加し、「秋田市道路照明灯LED化事業」を受託しました。

本事業は、秋田市内の市道に設置されている照明2,518灯を来年8月までに全てLEDに交換することとなり、当組合によると、事業協同組合が道路照明灯のLED化工事を共同受注するのは全国的に非常に珍しいとのことでした。

布谷理事長は、「地域経済の活性化に貢献するとともに、組合員の経営安定や収益増加に繋がる共同事業を推進していきたい。」と今後の抱負を述べました。

組合では、今後も組合員のための共同受注事業を展開し、活性化を図る方針です。



[作業の様子]

## 終活支援を行っています

## (秋田シニアライフ協同組合)

秋田シニアライフ協同組合(鈴木道雄理事長、組合員18名)では、無料相談窓口「あきた終活支援センター」を通じて、県民の終活をサポートしています。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、県外に住んでいて帰省を自粛している県内出身者から、墓の掃除や空き家の管理(草刈りなど)の代行サービスの依頼が増えている一方で、月2~3回開催していた終活セミナー等が全く実施できず、情報発信の場が失われていました。

そこで、新たな取組として、秋田ケーブルテレビに協力を得て、終活の始め方や相続・家屋解体等について、週2回ほど情報を発信しています。

菅原事務局長は、「何をすることが『終活』なのか、何から準備すれば良いのかをもっと多くの人

に知ってもらいたい。」と述べており、今後も周知に力を入れていくこととしています。

来年には、秋田で生涯活躍するまちづくり(秋田版CCRC)構想のモデルケースとして注目を浴びている秋田市の拠点施設「クロッセ秋田」へ無料相談窓口を移転し、さらなるサービス向上を目指しております。



[昨年の終活フェアの様子]

## 医療用ガウンやマスクを製造

コーディネート秋田協同組合(佐賀善美理事長、組合員6名)では、新型コロナウイルスの影響による販売不振で、各衣料メーカーの売上が激減したため、県内縫製企業の受注が前年に比べ秋冬物で6~7割と大幅に落ち込んでおり、さらに今後の春夏物の受注も大幅に減る見通しとなっています。

そのような中で、当組合では自治体からマスク約7万枚、国から医療用ガウン約30万枚を共同受注し、各組合員企業に発注することにより、衣料メーカーからの受注減少分をカバーしています。

組合員企業の縫製工場は、今回の受注により、マスクや医療用ガウンを生産するノウハウを得た他、withコロナ時代に向けた生産体制を再構築する良い契機となりました。

佐賀理事長は、「未だかつてない厳しい状況では

## (コーディネート秋田協同組合)

あるが、組合員企業と助け合い、今後も組合員のためになる事業を実施していきたい。」と抱負を述べています。



[医療用ガウンとマスク]

## なまはげ太鼓ライブで温泉郷を盛り上げる

男鹿温泉郷協同組合(山本貴紀理事長、組合員6名)は、男鹿市より男鹿温泉交流会館「五風」の指定管理を受託し、会館内で開催されるなまはげ太鼓ライブ等のイベント運営を実施しています。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、県内外からの個人・団体観光客や修学旅行がキャンセルとなり、4月25日から今シーズンの公演を開始する予定であった“なまはげ太鼓”ライブも中止を余儀なくされました。

その後、県による外出自粛要請が緩和された6月19日から、週末のみ公演を再開し、7月17日から平日も含め本格的に再開されましたが、手指消毒やマスク着用の他、収容人数を200人程度に制限するなど、感染予防対策を徹底しています。

組合に加入しているホテルの売上は前年比で40%以上減少しましたが、秋には県内の小中学校などから修学旅行の予約が入っている他、GoTo

## (男鹿温泉郷協同組合)

トラベルキャンペーン等の効果により、首都圏からの個人・団体観光客も回復傾向にあり、組合ではリニューアルしたホームページを活用するなどPRを積極的に行い、男鹿温泉郷を盛り上げていくこととしています。



[なまはげ太鼓ライブの様子]

## ハロウィンイベントを開催

10月17日(土)、鹿角市花輪大町商店街振興組合(川口智理事長、組合員45名)において、ハロウィンイベントが開催されました。

このイベントは、新型コロナウイルスの影響により、激減した来街者と各店の売上が早期に回復させ、花輪の商店街に賑わいを取り戻そうと企画されたもので、県の商店街消費喚起支援事業補助金を活用しました。

当日は、感染防止対策を徹底した上で、子どもたちへのお菓子の配布やオリジナルマスクコンテスト、おもちゃ病院、飲食の出店などを行い、来街者を楽しませました。

今年は、「花輪ばやし」をはじめとして地域の様々な行事や催しが中止となり、地域住民が集う機会がありませんでしたが、他の商店街等に先駆けてイベントを実施したことで、予想を超える

## (鹿角市花輪大町商店街振興組合)

大勢の親子連れが商店街に足を運びました。

組合の遠藤副理事長(兼販促部長)は、今日のイベントを契機として商店街だけでなく、鹿角市全体の盛り上げにつなげていきたいと話しています。



[ハロウィンイベントの様子]

# 景況レポート

(9月分・情報連絡員60名)

## 製造業DI値が過去最低記録に並ぶ

### 【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが5.0%(前回調査5.0%)、「悪化」が71.7%(同65.0%)で、業界全体のDI値は-66.7となり、前月調査と比較して6.7ポイント下回った。

東北・北海道ブロックにおいても本県と同様にDI値が前月より下降した。一方、全国のDI値は6月から上昇が継続しており、Go Toキャンペーン等の景気刺激策に期待する声が大きく、景況感に地域差が出ている。

### 【業界別の状況】

新型コロナウイルスによる影響が長期化し、受注等が前年割れのまま回復の見通しが立たないことから、製造業の景況DI値は5月と並び、過去最低タイ記録となった。

一方、非製造業では、上旬の猛暑に伴うエアコン受注増、シルバーウィークの観光客増、菅総理誕生を記念したセール等が影響し、前月のDI値を維持した。

この結果、全体景況DI値は5月以来4ヶ月ぶりに前月を下回った。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-66.7	-61.7	-57.6
製 造 業	-91.7	-66.5	-62.9
非製造業	-50.0	-57.8	-54.3

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

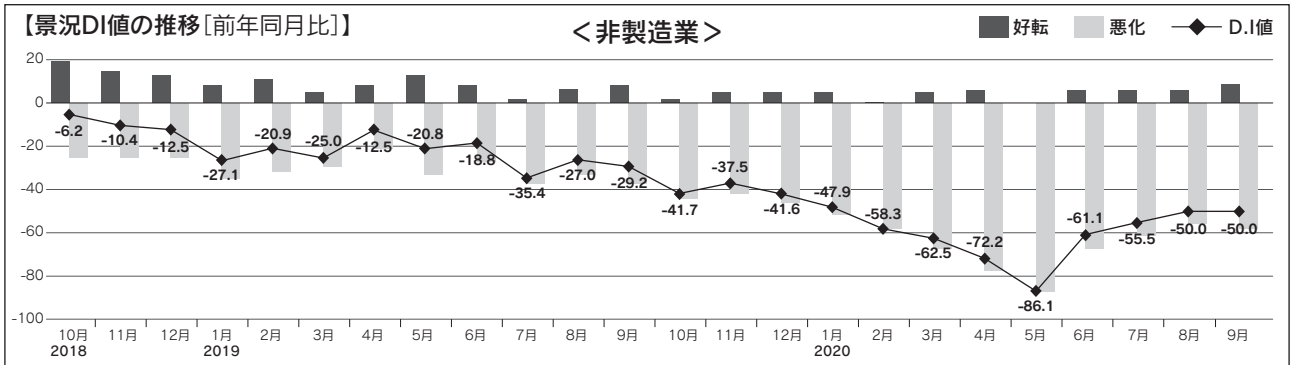
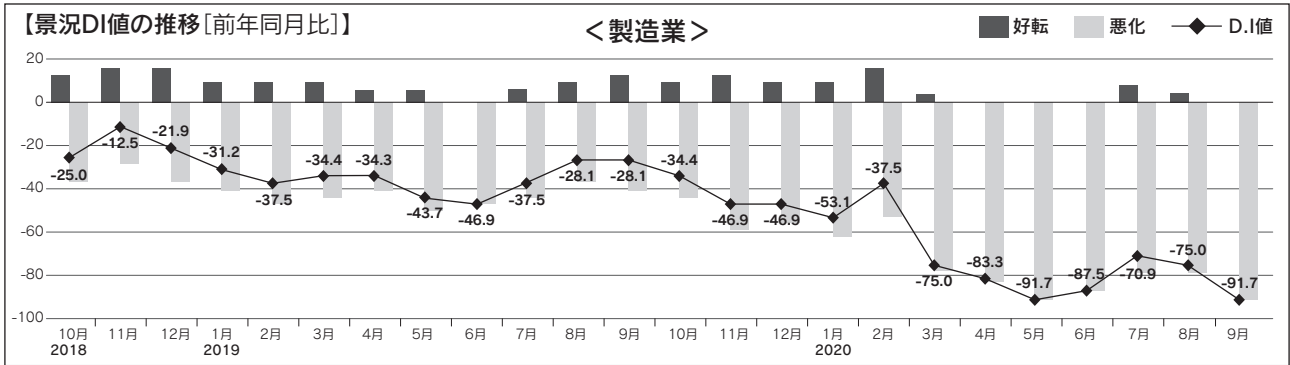
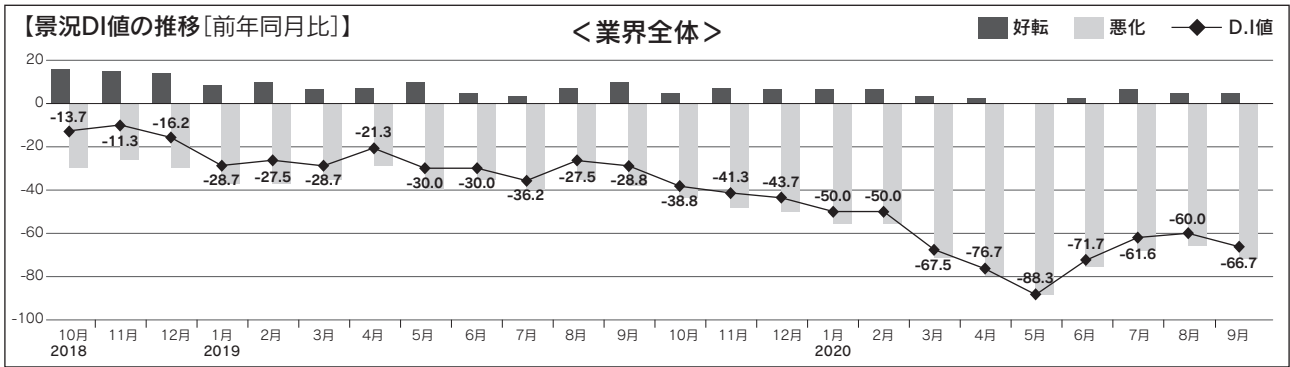
【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 くもり △10以上 △30未満 雨 △30超 △10未満 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：24名 回答率：100%)

食料品 (菓子)	シルバーウィークや彼岸などがあり、月の後半は物の動きが少し活発だったが引き続き厳しい経営が続いている。
食料品 (精穀・製粉)	移動制限の緩和等により、シルバーウィークや彼岸は、若干の回復傾向がみられたが、前年同月の売上には届かなかった。
繊維工業 (ニット)	9月、10月の受注は各社前年度比40~50%減少しており、医療用ガウンの受注で補っている状況であるが、11月以降の見通しは立っていない。
繊維工業 (繊維)	新型コロナウイルスによる販売不振の影響で受注が大幅に落ち込んでいることに加え、2021年春夏物の見通しが立っていない状況である。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	9月の販売高は、6月からの製品価格の引き下げが大きく影響し、前年同月比14.0%の減少となった。原木の虫害被害が拡大していることに加え、新型コロナウイルスの影響による営業自粛などで10月以降も厳しい経営環境が予想される。
木材・木製品 (素材生産)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、合板材工場の生産、販売量が前年同月比約6割程度減少したため、素材生産業者が生産した素材の在庫が増加した。今後、消費が回復しない場合、在庫の劣化(虫害)による販売価格の低下に伴い、素材生産業者の資金繰りが厳しくなることが予想される。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	9月の出荷数量は前年同月比92.2%であり、4月~9月までの累計では97.5%となっている。要因は、秋田中央地区では市立病院、文化施設、洋上風力発電建設工事で出荷数量が出ているものの、県南、大館、鹿角及び本荘由利地区の落ち込みが大きいことが影響した。今後は鹿角地区の風力発電建設工事が期待される。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	新型コロナウイルスの影響が依然として続いており、新規見積物件も少なく、各社とも稼働率が悪化している。先行きが見通せず、非常に不安である。
その他の製造業 (漆器)	シルバーウィークから徐々に観光客が増えており、売り上げも回復傾向にある。県をまたいでの業者の販売も開催されるようになってきたが、テパト等では、まだ集客は少なく売り上げにはつながっていない模様である。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：36名 回答率：100%)

**卸売業 (米 麦 卸)** 令和2年産米の集荷が始まり、JA全農あきたから各JAを通じて農家へ支払われる概算金  
が元年産米より60kgあたり700円下がり、供給過剰が明らかとなった。卸が元年産米を  
大量に持っていること、コロナ禍における外食産業の消費減退により、消費地での新米  
切り替えが10月中旬以降にずれ込むことで販売不調となっている。また、60kgあたり  
の販売価格が暴落(前年△2,000円)しており、かつてない状況となっている。

**小売業 (みやげ品)** 新型コロナウイルスの影響がみられるが、9月はシルバーウィーク等もあり、8月より多  
少上回り、前年同月比35%の実績となった。

**小売業 (電機)** 月初めの猛暑により、当初見込んでいなかったエアコンの需要があり、前年同月比109%  
の売上となった。

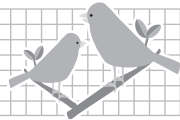
**商店街** 飲食業の一部に持ち直しの動きがみられるが、当組合の組合員店舗は厳しい状況であ  
る。特に、食料品製造業者は、新型コロナウイルスの影響でホテルの宴会がほとんどない  
ため、注文がなく厳しい状況である。(秋田市)

当市出身の菅総理が誕生したことで商店街全体が盛り上がった。特に小売・飲食業を中  
心に菅総理関連の記念商品販売、記念メニュー提供と併せて99セール、のぼり旗、横断  
幕設置など商店街のイメージアップが図られた。本県初の総理誕生で、コロナ禍での閉  
塞感から開放感、精神的な高揚感につながり、良い影響となっている。(湯沢市)

**サービス業 (タクシー)** 運行回数(対前年同月比)は72.9%、運送収入(同)は67.2%で推移した。新型コロナウ  
イルスの拡大懸念による県内外からの来訪者減少に歯止めがかかっておらず、回復には  
まだ時間がかかるようだ。

**建設業 (電気工事)** 中旬までは、残暑やフェーン現象等により蒸し暑く、エアコンの受注が長引いたため多  
忙であった。県内の新型コロナウイルスの新規感染者数も落ち着き、改修工事等が重  
なったため、それなりに忙しかった。(中央地区)

**運輸業 (トラック)** 3ヶ月ぶりに軽油単価が少し下がり、荷物も米、機材関係が動き出した感じがあるもの  
の、地場の仕事はまだ少なく、時間がかかるものとみられる。(中央地区)



## 中央会事業より

### 福祉・介護事業者を対象に懇談会を開催

～福祉・介護事業生産性向上懇談会～

9月25日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、第1回福祉・介護事業生産性向上懇談会が開催されました。

この懇談会は、新型コロナウイルス感染を防ぐために介護サービス事業所として講じるべき対策を学ぶことを目的として、会員組合の他、県内の介護サービス事業所の代表者等を対象に行いました。

講師に、秋田大学医学部附属病院感染制御部の嵯峨知生准教授を迎え、「介護サービス事業における専門的見地を踏まえた感染症対策」をテーマに新興感染症に関する対策について具体的なアドバイスがなされた後、出席者で懇談・意見交換を行い、事業所が行う感染症対策について共有しました。

嵯峨氏は、「新興感染症は、入所者や同僚、自らが感染しているかどうかを見分けることは困難であるため、平時からの備え・基本の徹底が重要であり、ウイルスがいるもの、感染者がいるものと『想定』し対策することが必要で

ある」と述べ、具体的な対策として、抗菌薬の適正な服用や手洗い・アルコール消毒の際の留意点について説明されました。

懇談・意見交換では、入所者が感染した場合の対処方法や、行政機関・医療機関の支援体制、入所者への食事介助の際に留意すべき点について、講師と意見が交わされました。

本懇談会は全2回の予定であり、次回は、介護サービス事業所の感染症対策を踏まえた業務効率化について意見交換することとしています。



[懇談会の様子]

### ITツールの活用法を学ぶセミナーを開催

～先進事例研究セミナー～

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ITツールの活用が急速に進んでいく中で、組合や組合員企業としてもITを活用し、オンラインによるコミュニケーションや情報の共有を押し進めていくことが強い経営基盤を作り上げる上で重要な課題の一つとなっています。

そこで、オンライン会議をはじめとしたITツールの活用方法と導入にあたっての留意点を学んでもらおうと、10月5日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、第1回先進事例研究セミナーを開催しました。

今回は、様々なITツールに詳しい合同会社あきたこまちネット代表社員の本田正博氏を講師に招き、IT化の基本的考え方について触れた上で各種ITツールの紹介が行われました。

本田氏は、IT化を考える大前提として、「今ある業務をそのままIT化しても生産性は向上しない。現在の業務を洗い出し、ムダを排除したり、合理化した上でITを活用できる部分がないか検討する必要がある。」と述べ、IT導入が生産性向上などの手段であって、目的ではないことを強調しました。

その上で、ITツールとして、オンライン会議等のツールである「Zoom」、文字情報のみのチャットツール「Chatwork」の他、メルマガ・メーリングリストやインターネットFAXなどの使い方や特徴について説明がなされ、特に、最近よく耳にする「Zoom」の使い方については詳しく解説が行われました。

11月5日(木)に開催される本セミナーの2回目では、今般の新型コロナウイルス感染拡大等、非常時の対策の一つとしてBCP策定に関するセミナーを実施することとしています。



[セミナーの様子]

## 女性起業支援セミナーが開講！

中小企業白書によると、2018年度の本県の開業率は2.6%で全国最低となっており、県内での起業促進が課題となっています。

このような中、近年は女性起業者の割合が増加傾向にあります。女性のみを対象とした気軽に参加できる起業セミナーが少なく、女性の起業促進の機会が十分とはいえない状況にあります。

そこで、本会では昨年度に引き続き、県内で起業を検討している、または起業に関心のある女性を対象として、起業支援セミナーを10月17日(土)から11月28日(土)までの全4回にわたり、秋田市の秋田県社会福祉会館において開催しています。

第1回目では、株式会社ミセラボ代表取締役・中小企業診断士の田中聡子氏を講師に迎え、「起業の流れと成功のヒント」をテーマに、起業する場合の流れや留意すべきこと、起業を成功させるためのポイントについてアドバイスがなされました。また、起業する際の事業計画作成のポイントなどについて学ぶとともに、サンプルの事業計画書をもとに、個人でのチェックとグループ討議・発表のワークを行いました。

田中氏からは、「個人事業主として創業すること自体は簡単であるが、創業してから数か月は赤字となる場合が多く、事業を継続していくことは難しいケースが多いが、着実に進んでいくためには様々な場面で様々な人から様々な話を聞くことが大事である。」とアドバイスがありました。

また、セミナーの最後に田中氏は、「起業を実現する最も良い方法は、他人に起業する夢を話し、大いに恥をかいて経験することである。時間を有効に使い、様々な人を味方につけて起業してほしい」と述べ、出席者を激励しました。

本会では、本セミナーを通じて、起業促進を図るとともに、企業組合制度の周知・普及にも努めていくこととしています。



[セミナーの様子]

## 県産家具等販路拡大支援事業研修会を開催

本会では、県産家具のブランド力向上と販路拡大につなげるため、昨年度、県産家具のマスターブランド「ORAE(おらえ)」とその中のプロダクトブランドの創出を支援しましたが、今年度は、「ORAE」参加企業を対象に、プロダクトブランドの一つ「アキタベイシック」の試作品開発や改良、PR活動に重点的に取り組むため、8月6日(木)と10月12日(月)に研修会を実施しました。

第1回目では、「ORAE」のブランドミッション・ビジョンの共有化を図るため、「マスターブランド『ORAE』の構築」をテーマに秋田公立美術大学美術学部美術学科の今中隆介教授を講師に招き、昨年度の研修等を踏まえた「ORAE」の理念構築のたたき台が示され、参加者が意見交換を行いました。

この中では、参加者から出された意見をまとめるとともに、「ORAE」参加各事業所が発表した特徴と強みを基に、次回までに新たな案をまとめることとしました。

第2回目では、プロジェクトブランド「アキタベイシック」のコンセプトとデザインをテーマに、具体的なアイテム構想と現実的な販路開拓手段の検討を行い、前回確定できなかった「ORAE」の理念を「森の国アキタから、

木に囲まれた心豊かな生活を届ける」に決定しました。

その上で、アキタベイシックの試作品開発を進めていくにあたり、県産木材を使用すること以外には特段の縛りがないこと、各工房の強みを打ち出すことがコンセプトとして定められた他、PR・販路開拓手段として、多彩な商品群を紹介するホームページを開設し、同ページ内にアキタベイシック販売サイトを設置することとしました。

また、公立美術大学の学生から製品アイテムを提案してもらい、今中氏の指導の下、具現化に向けて改良を行っていくこととしました。

今後は、商品開発を進めるため、事業者主体の勉強会の他、先進地である旭川家具の取組を学び、来年3月には秋田市において試作品の展示会を開催することとしています。



[研修会の様子]

## ネット戦略について学ぶ研修会を開催

～あきた食品振興プラザ～

あきた食品振興プラザ(佐藤正明会長、会員107名)では、10月8日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、コロナ禍を戦い抜くために必要なネット戦略等を学ぶことを目的に研修会を開催し、食品事業者や行政関係者等約100名が出席しました。

本研修会は、新型コロナウイルスの影響により経営環境が変化している中、ネットを通じてどのように情報発信することで自社の売上拡大に繋げるかを学ぶために企画されました。

第1部では、ヤフー株式会社SR推進統括本部の長谷川琢也氏より「地方発ネット販売のコツ～Yahoo!の取組とネットプロモーションの基本～」と題して講演が行われました。

長谷川氏は、東日本大震災をきっかけに宮城県石巻市へ移住し、被災地の産業を首都圏に向けて発信しているなか、地元の漁師より基幹産業である漁業が抱える大きな課題を知り、その解決のためにフィッシャーマンズ・ジャパンを設立しました。

講演では、ネットに載せれば売れる・知られるわけではなく、惹きつけるネタと発信の工夫が必要と述べたほか、プロモーションには、マニアックな業界紙や地元ローカル紙に取り上げてもらえるように注力することが効果的であり、自身も費用をかけずに数十社からの取材を受けたことや、テレビ出演を果たすことに成功した経験が語られました。

第2部では、株式会社博報堂クリエイティブディレクターの鷹觜愛郎氏より「これからの時代を勝ち抜くためのマーケットデザイン」を

テーマに講演が行われ、近年のデジタル情報革命により、従来のテレビCMなどを通じて一方的に情報を発信する手法から、SNSを通じて消費者に情報を発信してもらうことが主流になりつつあると説明がなされました。

その上で、「商品には、消費者の興味を引き付ける『強い入口』とSNSで拡散したくなるような『広い出口』が求められ、双方が最大の効果を発揮した時、商品は売れる。また、心や感情に訴える動画をつくることで話題性を高め、インターネット上でシェアされることで、無名商品であっても爆発的な売上に繋がる。」と述べました。

本講演では、デジタルを有効活用することで越境してモノを売ることができるようになった今、自社商品の特徴や強みを見つめ直すことで、資金のある大手企業だけでなく、地方の中小企業でも素晴らしい商品売り込むチャンスがあることが出席者に向けて発信されました。

あきた食品振興プラザでは、コロナ禍を踏まえて、今後もタイムリーなテーマの研修会を企画していくこととしています。



[研修会の様子]

## 会員間の意見交換を実施

10月15日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県アパレル産業振興協議会(佐賀善美会長、会員50名)の第1回研修会が開催され、新型コロナウイルスの影響が続く中、会員各社との情報共有を図り、課題解決につなげるため、県の中小企業支援施策の紹介と会員間での意見交換を行いました。

県の中小企業支援施策について、県産業労働部地域産業振興課の担当者より説明が行われ、小規模企業者元気づくり事業、かがやく未来型中小企業応援事業及び企業生産性向上支援事業など、会員企業での活用が想定される施策を中心に紹介されました。

また、意見交換会では、新型コロナウイルスの影響による各社の経営状況や抱えている課題について情報交換が行われ、出席者からは

## ～秋田県アパレル産業振興協議会～

「受注が少しずつ回復してきたものの、今年度の売上は前年比50%になる見込み」といった状況や、「3月以降の受注の見通しが立っていない」などの課題が報告されました。

本研修会で出された意見を基に、今後、県に対して、医療用ガウンの購入や女性活躍推進に関する職場環境整備補助金の創設、外国人技能実習生の出入国費用の補助などを要望していくこととしています。



[研修会の様子]



## ■実践演習(出店販売会)を実施

10月24日(土)～25日(日)の2日間、JR秋田駅ぽぽろーどにて、あきた食品事業マネジメント力講座の一環として実践演習(出店販売会)が開催されました。

あきた食品事業マネジメント力講座は、県内の食品製造事業者の役員や従業員を対象に、県外市場への展開を目指すマーケティングノウハウや生産性向上等に資する製造管理手法に関する講座を実施することにより、県内食品製造事業者の事業活動の中核を担う人材の育成を図ることを目的として、県が主催したもので、本会が運営事務局を担っています。

当講座には、県外展開マーケティングコースと製造マネジメントコースの2コースがあり、8月から各コースともこれまで3回実施され、受講した23事業者と過去の受講事業者のうち希望した7事業者が今回の実践演習(出店販売会)に臨みました。

出店販売会は「あきたの特産品マーケット」として開催され、出店した事業者は、これまで

## ～あきた食品事業マネジメント力講座～

の講座で学んだ効果的な販売手法を活かして自社商品の価値のアピールを行い、駅の利用者等が足を止め、陳列された商品を手にとって買い求めていました。

出店者の中には、容器や単価について、1日目の客の反応を参考に見直してから2日目に臨んだ事業者もいて、少しでも改善しようという意気込みが感じられました。

当講座は、11月25日(水)に最終回として両コースの受講者や過去の受講修了者、支援機関等が参加して、事業拡大に向けた特別講座と拡大交流会を実施することとしています。



[出店販売会の様子]

## インフォメーション

### 新型コロナウイルス感染拡大防止職場環境整備事業費補助金について (秋田県)

秋田県では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために職場環境の整備を行う県内中小企業を支援します。

#### ○補助対象者

秋田県内に事務所、事業所を有する中小企業者等(※一部の業種は対象外です)

#### ○補助対象事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした職場環境の整備のための設備導入や工事等

#### ○補助対象経費

補助対象事業を実施するために必要な経費(建物付属設備、機械装置・備品、消耗品費、修繕費等)

#### ○補助率・補助限度額・補助対象期間

- ・補助率 4/5
- ・補助限度額 下限50万円～上限500万円

#### ・補助対象期間

令和2年4月1日～令和3年2月28日

※期間内に支払いを完了し、実績報告を県に提出する必要があります。

#### ○募集期限

令和3年2月15日(月)

※予算が無くなり次第、終了します。

#### ○申請の方法

下記URLから申請様式をダウンロードの上、下記申請先までご提出ください。

[URL]<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/52665>

#### 【申請先・お問い合わせ先】

〒010-8570 秋田市山王三丁目1-1

秋田県産業労働部地域産業振興課

ものづくり振興班 TEL: 018-860-2241

E-mail: [induprom@pref.akita.lg.jp](mailto:induprom@pref.akita.lg.jp)

### 11月は「労働保険適用促進強化月間」です

### (秋田労働局)

#### 労働保険(労災保険・雇用保険)の 加入手続はお済みですか

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者を1人以上使用する全ての事業主が加入することとなっています。

該当する場合は、事業主及び労働者の意向にかかわらず、法律上、当然加入の手続を行うことが事業主の義務となっています。まだ加入

されていない場合は、早急に最寄りの労働基準監督署かハローワーク(公共職業安定所)にご相談されますようご案内いたします。

#### 【お問い合わせ先】

秋田労働局総務部労働保険徴収室

秋田市山王6丁目1番24号

山王セントラルビル6階

TEL: 018-883-4267

国税庁では、日頃から国民各層・納税者の皆様に租税の意義、役割や税務行政の現状について、より深く理解していただき、自発的かつ適正に納税義務を履行していただくために、納税意識の向上に向けた取組を行っています。

特に、毎年11月11日から17日までの1週間を「税を考える週間」とし、この期間を中心に様々な広報広聴施策を行うとともに、税務行政に対するご意見やご要望をお寄せいただく機会としています。

今年は、「くらしを支える税」をテーマに、マイナポータルを活用した年末調整・確定申告、納付手続のキャッシュレス化、AIの活用による税務相談の自動化、電子申告による事務の省力化・ペーパーレス化など、国税庁のオンライン

手続の取組を国税庁のホームページで紹介しています。



Go To 商店街事業について

(経済産業省)

経済産業省では、3密対策等の感染拡大防止対策を徹底しながら、商店街がイベント等を実施することにより、周辺地域で暮らす消費者や生産者等が「地元」や「商店街」の良さを再認識するきっかけとなる取組を支援する、「Go To 商店街」事業に取組む商店街等を募集しています。

- 応募対象者：
  - 特定の商店街等の活性化に資する取組を実施できる商店街組織等
- 対象事業
  - ・消費者や生産者が、地元や商店街の良さを再認識するきっかけとなるような商店街イベント等の実施

- ・地域の良さを再発見を促すような、新たな商材の開発やプロモーションの製作
- 事業実施箇所
  - ・申請主体所在エリア及び隣接するエリア
  - ・オンラインイベント、商材開発、プロモーションの場合はエリアの制限はなし
- 上限額：300万円×申請者数+500万円  
(2者以上で連携し事業を実施する場合に限る)
- 対象経費：
  - イベント等を実施するために必要な経費

【お問い合わせ先】  
Go To 商店街事務局 TEL：0120-304-060  
お問い合わせ時間 10:00～18:00

地域中小企業団体等支援事業について

(秋田市)

秋田市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の各業界・業種を代表する団体等に対し、業績の改善等に向けた取組を支援するため、「地域中小企業団体等支援事業」を活用する中小企業団体等を募集しています。

- 補助対象者
  - 次のいずれかに該当する団体等が対象となります。ただし、本事業による補助金の交付を受けた団体等の上部組織又は下部組織は除きます。
  - ア 本市内の各業界・業種を代表する法人又は任意団体(組合、協会等)。
  - ただし、任意団体の場合は、会員規約等を有し、現に活動の実態があること。
  - また、県単位で組織されている業種・業界の代表団体の場合は、本市内に本社、本店、営業所等を有する会員が含まれていること。
  - イ 秋田市内の商工団地に立地する企業が組織する団体等
- 補助率および補助限度額
  - ア 補助率は、補助対象となる経費の10/10以内とする。
  - イ 補助限度額(上限額)は、100万円とする。
- 補助対象事業
  - 次のいずれかに該当する事業

1. イベント開催事業(販促イベント、商品プロモーション、販売会、商談会、展示会等)
  2. キャンペーン実施事業(プレゼント、クーポン券発行等)
  3. セミナー、合同研修会等の開催事業
  4. その他市長が特別に認めるもの
- 補助対象経費
    1. 各種イベント、キャンペーン、セミナー等の開催や実施に要する経費
    2. 1以外の経費
      - ・事務費(会議費、会場借上料、報告書等作成費、資料作成・購入費、通信運搬費等)
      - ・謝金、旅費
  - 提出書類
    - 補助金交付申請書、収支予算書、事業計画書、申請団体等の概要資料(※団体等の規約・会則等、会員名簿、収支・事業報告書、申請者名義の通帳口座(写し)など)、過去の活動実績を示す資料
  - 募集期間 令和3年2月26日まで

【申請先・お問い合わせ先】  
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号  
秋田市産業振興部商工貿易振興課  
TEL：018-888-5726 FAX：018-888-5727  
E-mail：ro-inpr@city.akita.lg.jp

官公需適格組合

『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 本 多 秀 文

副理事長 谷 藤 健 二

” 太 田 博 之

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

『スキルアップ』

## 千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49

TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19

TEL 018(888)3666

URL : <http://www.k-chiyoda.jp>

株式会社

## 八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送  
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下毛平116-12

TEL 0186-34-2011

FAX 0186-34-2013

For Earth, For Life  
Kubota

Hello, my Smile

陽菜 Smile  
ハルナ



詳しい製品情報はこちらのQRコードから!

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38

Tel : 018-845-2121 Fax : 018-845-8600

おかげさまで20周年を迎えることができました。  
今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



保険&リース

## 北日本ベストサポート

【本店営業部】

〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号

TEL:018-883-1888/FAX:018-883-1822

【県南営業部】

〒014-0047 秋田県大仙市大曲須和町1丁目4番地57号

TEL:0187-66-3622/FAX:0187-88-8133

【能代東支店】

〒016-0122 秋田県能代市扇田字東扇田165-2

TEL:0185-58-2116/FAX:0185-58-2663

【酒田支店】

〒999-8438 山形県飽海郡遊佐町比子字白木23-362

TEL:0234-75-3370/FAX:0234-75-3376

[URL] <http://www.knbs.jp>

# 秋田県中小企業団体中央会団体扱 「オーナーズプラン」のご案内

BESTパートナー  
大樹生命

# Owner's Plan



- 事業保全資金
- 事業承継・相続
- 就業不能
- 役員の退職慰労金・弔慰金
- 従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

※一部対象とならない商品・契約がございますので、  
詳細は下記までお問い合わせください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

**大樹生命保険株式会社 秋田支社** 秋田営業部 TEL:018-801-1626 大館営業部 TEL:0186-49-2459  
 〒010-0001 秋田県秋田市中通2-3-8 本荘支所 TEL:0184-23-2950 大曲営業部 TEL:0187-62-1337  
 秋田アトリオンビル10F 能代支所 TEL:0185-52-5351 湯沢支所 TEL:0183-72-3230  
 TEL:018-801-1645  
<https://www.taiju-life.co.jp/>

B-2020-5002 (2020.4)  
使用期限 2021.3.31

## 公益財団法人産業雇用センターは失業なき労働移動をサポートします。

・お気軽にご相談、連絡ください。当センターの全職員は皆様方のご期待、ご要望に応えるべく努力いたします。

### ■企業間の人材マッチングをサポート

- ・人材を必要としている企業の皆様へ  
⇒人材情報の提供・斡旋をします。
- ・雇用調整を検討している企業の皆様へ  
⇒従業員様の再就職をサポートします。

### ■優秀な人材の育成、 職場の活性化をサポート

- ・経験豊富な講師が、活力ある職場づくり  
を各種セミナーを通じてお手伝いします。

### 当センターの4つの特色

#### 1 30年以上の実績と信頼

経済・産業界と厚生労働省の協力で設立された公益財団法人で、30年以上の実績と信頼を誇ります。

#### 3 全国ネットのサービス

全国47都道府県に事務所があり、全国ネットでサービスを提供しております。

#### 2 雇用調整対象者に再就職支援

人材が余剰な企業と不足している企業との間で出向・移籍による支援をしております。

#### 4 企業・個人情報厳守

企業情報・個人情報に關しましては、当センターの個人情報保護方針に基づき厳守いたします。

### ご利用は無料

登録

相談

あっせん

成立(再就職)

### 独自の人材情報を提供

当センター独自の人材情報を提供し、  
再就職・人材確保の支援が可能です。

### ハローワーク等と併用が可能

ハローワークなどと併用し、全国ネットでの再就職・人材確保の支援が可能です。

## 公益財団法人 産業雇用安定センター 秋田事務所

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カン秋田ビル4階

TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

メールでもお問い合わせいただけます ☑ Akita-2@sangyokoyo.or.jp

ホームページもご覧ください  
[sangyokoyo.or.jp/](http://sangyokoyo.or.jp/)

産業雇用安定センター

ホームページは  
こちらから

